

平成26年度土幌町予算審査特別委員会議事録

平成26年3月11日

1 審査付託事件

- 議案第21号 平成26年度土幌町一般会計予算
議案第22号 平成26年度土幌町国民健康保険事業特別会計予算
議案第23号 平成26年度土幌町後期高齢者医療事業特別会計予算
議案第24号 平成26年度土幌町介護保険事業特別会計予算
議案第25号 平成26年度土幌町介護サービス事業特別会計予算
議案第26号 平成26年度土幌町簡易水道事業特別会計予算
議案第27号 平成26年度土幌町公共下水道事業特別会計予算
議案第28号 平成26年度土幌町農業共済事業特別会計予算
議案第29号 平成26年度土幌町国民健康保険病院事業会計予算

2 出席委員（11名）

秋間紘一 細井文次 和田鶴三 服部悦朗 出村寛 大西米明
飯島 勝 清水秀雄 加藤宏一 森本真隆 中村貢

3 欠席委員（0名）

4 説明のため出席した者

町長 小林康雄 代表監査委員 佐藤宣光 農業委員会会長 赤間敏博

5 町長の委任を受けて出席した者

副町長 柴田敏之 保健医療福祉センター長 山中雅弘 総務企画課長 寺田和也
会計管理者 太田靖久 町民課長 伊賀淑美 保健福祉課長 大森三宜子
産業振興課長 高木康弘 建設課技術庁 増田優治（代理） 病院事務長 奥村光正
特別養護老人ホーム施設長 波多野義弘 子ども課長 高橋典代 消防署長 荒田雅則

6 教育委員会長の委任を受けて出席した者

教育長 堀江博文 参事 笠谷直樹 教育課長 植田廣幸 高校事務長 金森秀文
給食センター所長 鈴木典人

7 農業委員会会長の委任を受けて出席した者

係長 加藤吉宏（代理）

8 職務のため出席した議会事務局職員

事務局長 柳谷善弘 総務係長 仲山美津子

9 議事録

(午後 3時46分)

柳 谷 事務局長	予算審査特別委員会の構成を行います。 予算審査特別委員会の構成に当たり、委員会条例第8条の規定に基づき清水秀雄委員に臨時委員長をお願いいたします。
清水臨時 委員長	臨時委員長の職務を行います。 ただいまから予算審査特別委員会を開会します。 直ちに本日の会議を開きます。 これより委員長選挙を行います。 お諮りします。委員長選挙は、臨時委員長による指名推選によることにいたしたいと思えます。これに異議ありませんか。 (異議なし)
清水臨時 委員長	異議なしと認めます。 よって、委員長選挙は指名推選によることに決定しました。 お諮りします。委員長に秋間紘一委員を指名します。異議ありませんか。 (異議なし)
清水臨時 委員長	異議なしと認めます。 よって、秋間紘一委員が予算審査特別委員会委員長に当選されました。 以上をもって委員長と交代します。 暫時休憩します。 午後 3時50分 休憩 午後 3時51分 再開
秋 間 委員長	それでは、休憩前に引き続き委員会を開きます。 これより副委員長選挙を行います。 副委員長選挙は、委員長による指名推選によることにいたしたいと思えます。これに異議ありませんか。 (異議なし)
秋 間 委員長	異議なしと認めます。 よって、副委員長選挙は指名推選によることに決定いたしました。 お諮りいたします。副委員長に服部悦朗委員を指名いたします。異議ありませんか。 (異議なし)
秋 間 委員長	異議なしと認めます。 よって、服部悦朗委員が副委員長に当選されました。 ただいまより予算審査を行います。 本委員会の運営について特段の協力をお願いいたします。

		<p>審査の方法は、理事者から総括説明の後、各款ごとに説明を受け、質疑の後、各会計ごとに討論、採決を行いたいと思います。これに異議ありませんか。</p> <p style="text-align: center;">(異 議 な し)</p> <p>異議なしと認めます。</p> <p>よって、審査方法は各款ごとに説明を受け、質疑を受けた後、各会計ごとに討論、採決することに決定いたしました。</p> <p>なお、関係する主幹並びに主査も議場に待機しておりますので、必要に応じて委員長の指名によって答弁する場合がありますので、ご了承願います。</p> <p>また、説明員の交代につきましては、その都度休憩を宣言して行いますので、あらかじめ了解を願います。</p> <p>平成26年度土幌町一般会計予算を議題といたします。</p> <p>理事者の総括説明を求めます。副町長、登壇願います。</p>
<p>説明</p>	<p>秋 間 委員 長</p> <p>柴 田 副 町 長</p>	<p>それでは、平成26年度予算の総括説明をさせていただきます。説明資料により説明をさせていただきます。</p> <p>まず最初に、1 ページでは平成26年度当初予算全会計の総括表となっております。一般会計から病院事業会計まで記載されておりますが、一般会計では平成26年度69億8,700万円で、対前年度比6,200万円、0.9%微増の予算となったところであります。</p> <p>国保会計では、共同事業拠出金は増加しているものの、後期高齢者支援金の減少などにより前年度より若干少ない10億6,803万1,000円であります。</p> <p>後期高齢者会計では、広域連合への納付金が増額となったため、前年度比126万円ほど多い9,050万6,000円の予算額となりました。</p> <p>介護保険会計では、施設介護サービス給付費の伸びが大きいため、前年度比3.7%、約2,200万円増の6億2,287万7,000円となったところであります。</p> <p>介護サービス会計では、電気料、燃料費等の上昇により、またその他のコストの増によりまして593万6,000円、1.1%の伸びで5億3,809万7,000円となったところであります。</p> <p>簡易水道会計では、年次的に実施している新しい水源池の整備にかかわる経費を予定しておりますが、水道管施設工事の一部を道営土地改良工事とのアロケーションで実施することにより、予算的には2,600万円ほど減少となり、7.6%の減、3億1,752万3,000円となっております。</p> <p>下水道会計におきましては、土幌終末処理場の長寿命化計画策定のため調査費を計上し、4.5%増、1億4,994万9,000円となりました。</p> <p>共済会計では、家畜共済勘定で引き受け頭数の減により6.6%の減、業務勘定では人員配置の関係から3.3%の減で、総体では前年度比で2.</p>

7%下回る予算となったところであります。

病院事業会計においては、経費等の減額を見込んだため収益的支出で前年度比約5,500万円、5.7%減の9億2,423万円となり、一般会計からの繰入金を前年度と同額の2億8,000万円としたところであります。資本的支出では、医療機器等のほか維持システムの更新を含め、対前年度比6.9%の伸びとなったところであります。

全会計の総額は120億188万3,000円、率で0.1%減、ほぼ前年度と同額の予算となったところであります。

2ページ目ですが、これは平成26年度一般会計の歳入歳出別の対比表であります。円グラフのうち外側が26年度分でありまして、前年度との比較となっております。上段のグラフが歳入でありまして、備荒資金組合からの収入が4億4,000万円ほど減で、町債が3億6,000万円、また障がい者総合施設の愛のまち基金や新たな耐震改修基金、活き生きまちづくり基金からの繰入金の増で、特定財源が1億1,000万円ほどふえております。下段のグラフは歳出でありまして、ほぼ前年度と同じような構成となったところであります。

3ページ目は、歳入歳出の款別の対比表であります。左側が歳入であります。先ほど説明したとおり、備荒資金が減り町債がふえたため、その構成比が逆転したとともに、繰入金がふえ、その構成が大きくなったものであります。右側が歳出でありまして、総務費では庁舎等の耐震改修費、民生費では障がい者総合福祉施設への補助金、土木費では公営住宅建設費の増、農林業費は土地改良事業の償還金の減などにより、このような構成となったものであります。

次に、4ページ、5ページをお開きください。性質別の歳出予算額調であります。人件費につきましては3.3%の減となっておりますが、職員減と退職手当組合の負担金が25年度は3年に1度の精算の年であったことにより26年度は減額となったものであります。維持補修費の14.1%の伸びにつきましては、建設工事に係る人件費の増により、道路維持業務の委託料の伸びや道路維持車両、トラックの更新によるものであります。補助費の一部事務組合については、北十勝2町環境衛生処理組合の建設費に伴う起債の償還が終了したため、5%の減となりました。その他の補助金につきましては、活き生きまちづくり基金からの繰入金を備荒資金組合への納付金に充てたことや国の臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金が単年度であります。新たに予算化したことによるものであります。普通建設事業では、補助事業として公営住宅建設工事により大きく伸びております。国営土地改良事業償還金は、本年度はないため皆減となりました。道営事業負担金につきましては、土幌北部、土幌西部南地区の畑総事業が事業地区完了により事業量が減少したため40%ほどの減となっております。失業対策事業費では、緊急雇用創出推進事業補助、企業支援型地域雇用創造

事業補助金による事業がなくなったことにより約2,100万円が減額となっているところであります。公債費では、元金の償還額の減によるもので10.2%の減となりました。投資及び出資金では、病院会計の医療機器整備事業に対する出資金が前年度よりふえたものであります。繰出金では、介護保険事業、介護サービス事業、簡易水道事業、公共下水道事業への繰出金の増によるものが増加要因であります。

6ページ、7ページでは、節別の歳出予算額調であります。報酬につきましては、知事、道議選、町長選挙、農業委員会の選挙による立会人報酬の増によるものであります。給料、手当につきましては、先ほど性質別で説明したとおりであります。共済費については、率の変更によるものであります。賃金では、こども園の支援員の増員とALT1名の増によるものであります。旅費では、農業委員の道外視察にかかわる費用弁償の増が主な要因であります。需用費のうち食糧費の増額は、各種選挙にかかわるもので増額となったものであります。役員費では、それぞれの款ごとに少しずつ伸びておりますが、新設した太陽光発電施設の保険料の増が大きな要因となっております。委託料では、総務費の耐震改修等実施設計の委託料、失業対策にかかわる委託料の減額が主な要因でございます。工事請負費では、庁舎等の耐震改修工事、プラザ緑風の温泉施設等の改修、公営住宅建設によるもので1億6,500万円、19.5%の伸びとなったところであります。備品購入費での増額につきましては、リサイクルセンターの発泡スチロールの減容機、ヌプカの里の芝刈り機、ピア21のソフトクリームサーバー、道路維持作業用のトラック等の更新があります。22節の補償、補填及び賠償金では、土木費の補償費の減であります。積立金では、生き生きまちづくり基金への太陽光発電施設の貸付収入を原資とした積立金が新たに発生したことにより増額となっております。それ以外につきましては、性質別予算額調の説明と重複いたしますので、省略をさせていただきます。

次に、8ページの性質別歳出予算財源内訳です。特に補助費の国庫支出金が伸びているのは、臨時福祉給付金等によるものであります。単独事業の地方債では、庁舎等耐震化にかかわる緊防災によるもので、その他は前年並みとなっているところであります。

次に、9ページですが、ここでは建設事業費に関するものであります。1の補助事業であります。社会資本総合整備交付金事業としまして1路線が終了し、新たに2路線の事業を見込んでおります。また、公営住宅建てかえ事業として1億5,250万円を見ており、補助事業の計では1億4,000万円ほど増額となっております。

単独事業分として、庁舎耐震等改修工事に5億円、障がい者総合施設等建設事業に9,800万円、しほろ温泉施設設備改修工事に1,900万円、町道整備事業に新たに朝陽5号線の整備を含め2路線に4,000万円等

		<p>を計上し、単独事業の合計では前年度より約7,100万円ほどの伸びとなったところであります。</p> <p>10ページの道営林道事業では、前年度同様、ワッカ美加登線の開設事業分の負担金を計上し、道営土地改良事業では一部地区が事業を終了したため事業量が減少しましたが、7地区分に1億8,320万円を計上いたしました。</p> <p>最後に、失業対策事業分では、前年度緊急雇用創出推進事業補助金と企業支援型地域雇用創造事業による事業がなくなりまして、町単独事業分の約300万円余りとなったところであります。</p> <p>次に、11ページでは、国費、道費による各種事業導入調であります。道営担い手畑総整備事業では、土幌地区の営農用水、土幌佐倉第2地区が新たに事業地区と予定されております。</p> <p>12ページ以降につきましては、重立った事業の内容と建設事業及び町有林管理事業等の箇所図を載せておりますので、ご参照願いたいと思います。</p> <p>以上で平成26年度の一般会計の概要の説明とさせていただきます。</p> <p>以上で総括説明が終わりました。</p> <p>これより各款について説明を求めます。なお、説明に当たっては、特に新規事業につきましては詳細な説明をお願いいたします。</p> <p>ここで説明員の交代のため暫時休憩をいたします。</p>
<p>秋 間 委 員 長</p>		<p style="text-align: center;">暫時休憩</p>
<p>説 明</p> <p>秋 間 委 員 長 柳 谷 事 務 局 長</p>		<p>休憩を解きます。</p> <p>最初に、議会費について説明を願います。議会事務局長。</p> <p>それでは、議会費につきまして、議会事務局長柳谷よりご説明申し上げます。</p> <p>33ページをご覧ください。1款1項1目議会費の予算総額は83,964千円で前年度対比606千円の増額となっております。この主な要因といたしましては、9節旅費をはじめとしてそれぞれ実績に応じて169千円を減額したものの、4節の共済費等や需用費が775千円の増額となったものであります。</p> <p>その他の節におきましては、25年度の実績見込みを考慮いたしまして予算を計上しております。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
<p>質 疑</p> <p>秋 間 委 員 長</p>		<p>説明が終わりましたので、質疑に入りますが、質疑は1人1問までとし、さらに質疑があれば他の委員の質疑が終わってから許すことといたします。なお、質疑に当たりましては予算書のページ番号、予算科目の目、節を明示の上、質疑をされるようお願いいたします。</p> <p>それでは、議会費について質疑を行います。ございませんか。11番、</p>

大西委員。

大西委員 私も20何年議員やって、議会費に質問するのは初めてですが、交際費についてお聞きしますが、答えるのは議長ですが、議長は除斥されていますので、答弁は要りませんので、私が一方的に質問をします。

道南のほうでパーティー券を公費で買ったということではちょっと問題になっていますので、これは多分全道的にそういう話が出てくるのだと思います。公費でパーティー券買うことがいかなものかどうかということは、これはまだわかりませんので、十勝管内が一律同じ方向性を向いてやっていかないと、あそこの町村はお祝いを出したよ、パーティー買ったよ、公費で買っていた。また、自分で買う町村があったりお祝いを持っていかない町村があったり、いろいろしていますので、各町村会の中でそれを統一した見解を出して、それに一律士幌町もやったらどうなのかなという意見であります。

答弁する人がいけませんので、一方的に言って、あと総務費の中でも町長の交際費もありますから、その辺を鑑みてやっていただきたいなと思いますので、終わります。

秋 間 委員 長 そのほかございませんか。

(な し)

秋 間 委員 長 それでは、ないようでございますので、本日の予算審査特別委員会
はこれにて散会いたします。

なお、明日午前10時から再開いたします。

(午後 4時10分)